



わかしよ

〔学校教育目標〕

○かしこい子ども

○美しいものに感動する子ども

○思いやりのあるやさしい子ども

○たくましく生きぬく子ども

6年生を送る会 とても楽しい会となりました

2月24日(金)に 6年生を送る会が行われました。感染症対策のため、全校児童が集まることはできませんでしたが、オンラインで各クラスをつなぎ、心温まる素晴らしい会となりました。「久しぶりにはしゃぐことができ、とても楽しかった。みんな大声で、○だーとか×だよーとか言ってとても盛り上がった。」と



6年生が感想を教えてくださいました。

6年生は小学校生活の半分をコロナ禍で過ごしてきました。休校や分散登校から始まり、運動会や音楽会の中止や自粛、給食は黙食と様々な制限の中での生活でした。6年生を送る会では、その思いを晴らすかのように自分を表に出して楽しい時間が過ごせました。

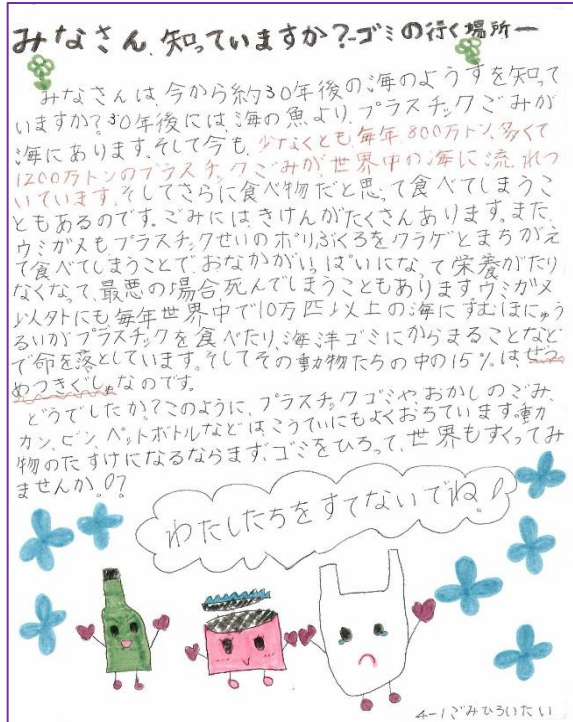
企画してくれた新児童会役員さんたち、本当にありがとう。素晴らしい会でした。

6年生、しっかりバトンを渡せたね。



3月に入りました令和4年度も残すところあと一か月となりました。6年生は卒業に向けて、卒業制作や卒業式の練習に取り組んでいます。

4年生の「ごみひろいたい」のその後です。校舎周りのごみから、グローバルな視点でのごみひろいに発展してきました。がんばれ「ごみひろいたい」。応援していますよ。



クラス替えについて

子供たちにとって、学校の中でクラスはとても大事なところ。学校生活のほとんどの時間をクラスで過ごします。友達関係もクラスが中心となっています。本校では2年ごとのクラス替えを行ってききましたが、来年度から毎年クラス替えを行うこととします。

小学校では一人の先生がクラス全員の児童を指導する学級担任制です。しかし、個人の多様性を重視する社会の仕組みや、対話的な学びを重視する授業形態の在り方など、複数の目でより多くの教師がかかわり指導する形に変わってきています。全国的には地域差もありますが、毎年クラス替えをする学校は6割(3割が複数年、1割が単級)ほどあり、埼玉県では基本すべての学校で毎年クラス替えを行っているとのこと。

若草中学校でも毎年クラス替えがあり、学年教師がチームとして学年の生徒を指導する形をとっています。若草小でも5・6年生は中学校と同じような教科担任制での授業を行っています。学校自体が様々な面で変革を求められています。『不易と流行』という言葉があります。変えてはいけないこともあります。時代の変化に合わせる面も大切だと考えています。すべては「子供たちのため」です。子供の明るい笑顔のためにご理解とご協力をお願いいたします。

地域の方から、校長宛にお手紙をもらいました。(一部抜粋)

『朝、7時30分頃から近くの集合場所に児童のみなさんが集まり、集団登校している姿を何度も見ていました。大きいお姉ちゃんの後ろから小さい子がついていく姿は、見ていてとてもうれしくなります。こんな私も半世紀も前に黄色の旗を持って小学校に通ったものです。つい思い出してしまいました。』という内容でした。子供たちを温かい目で見守っていただいている様子がわかりました。そして、4月にはお孫さんが若草小学校へ入学するそうです。おじいちゃんですが、孫を思う期待と不安が入り混じっているとのこと。「とにかく頑張れ！」そう声をかけるしかないとお孫さんを応援する様子が書かれていました。地域の方に見守られ、子供たちは成長していきます。暖かい声掛けをこれからもよろしくお願いします。

校長室に、開校時(昭和47年度)からの卒業アルバムが保存されています。私も本校で勤務したこともあり時々ページをめくります。子供たちが「お父さんが若草小卒業しました。」「お母さんが校長先生知っています。」などと声掛けしてくれ、いっしょに眺めることもあります。(ことわりなくすみません。)みんなお父さん・お母さんを必死に探します。見つけた瞬間、自分と同じ年代のお父さん・お母さんの顔写真を見て微笑んでいます。「お父さんは小学校の時しっかり勉強しましたか?」と聞かれたことも(笑)懐かしい校舎も築50年が経過し、新校舎建設が計画されています。令和5年6月には仮設校舎の建築が始まります。令和6年1月から解体工事に入り、同時に仮設校舎での生活となります。現校舎での生活は令和5年12月までです。最後まで感謝の気持ちで生活し、お別れの日まで大切に使っていきます。

